

# 月の沙漠と加藤まさを

加藤まさをは、大正中期より昭和前期にかけて、一世を風びしたみずみずしい抒情画の数々を発表し、一世をきづくとともに、大正12年に発表した「月の沙漠」は、御宿海岸がその舞台となりました。



このことを永遠に記念するため、昭和44年7月6日美しい御宿の砂丘に、「月の沙漠記念像」が建てられ、この時以来、月の沙漠の発祥地御宿の名は全国に知られるようになりました。

以来、月の沙漠記念像は、多くの人々に愛され、月の沙漠の御宿として、町発展の基盤となり、大正ロマンをほうふつさせる文化遺産として、また観光御宿の知名度の向上と飛躍の原動力となりました。

月の沙漠は、童謡の名曲として、子供から大人まで、いつの時代にも愛され、歌いつがれてきました。平成元年、NHKが行った「ふるさとの歌100選」で千葉県で第1位、全国でも第5位に選ばれ、今もなお、人々の心を魅了しています。

加藤まさをは、同年代に活躍した竹久夢二、蕗谷虹児、高畠華宵らと共に並ぶ抒情画家であり、抒情詩人であります。抒情画のほかに、詩あり、童謡あり、小説・歌謡曲などその創作は多彩を極め、数多くの作品を残しています。

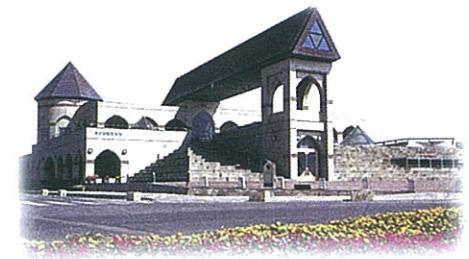
## 加藤まさを略年譜

- 1897年（明治30年）4月、静岡県藤枝市に生まれる。本名正男。父は浦和中学の教師。  
1916年（大正5年）東京、芝の高輪中学から立教大学英文科に進学。  
1920年（大正9年）5月、童謡画集「カナリヤの墓」（岩波書店）を出版。  
1921年（大正10年）立教大学を卒業。童謡画集「合歡の掘藍」（内田老鶴画）を出版。  
1923年（大正12年）「少女俱楽部」3月号に「月の沙漠」を発表。7月、童謡画集「人形の墓」を出版。この頃より「令女界」「少女俱楽部」「少女画報」などの口絵や挿画、また詩や小説などで活躍。  
1926年（大正15年）7月、小説集「遠い薔薇」を出版。11月、「まさを抒情詩集」を出版。  
1927年（昭和2年）1月、小説集「愛の哀しみ」を出版。この頃からよく西條八十の詩集の挿画を描く。  
1929年（昭和4年）1月、「抒情小曲集」、9月、小説集「消えゆく虹」を出版。  
1935年（昭和10年）10月、「名作挿画全集」第5巻（平凡社）に「消えゆく虹」の挿画、抒情詩と挿画が掲載される。  
1936年（昭和11年）3月、「名作挿画全集」第8巻（平凡社）に、抒情詩と挿画が掲載される。  
1949年（昭和24年）11月、講談社の絵本「シンデレラ姫」を出版。その後同シリーズの絵本多数を描く。主な作品に「ガリバー旅行記」、「おやゆびトム」、「クリスマス・キャロル」。  
1969年（昭和44年）7月、限定版の詩集「月の沙漠」（今野書房）を出版。同7月、「月の沙漠」の詩碑と記念像が、この詩の発想をえた地、千葉県御宿に建てられる。  
1974年（昭和49年）千葉県岩和田小学校の校歌を作詞、作曲。  
1976年（昭和51年）千葉県御宿に移り住む。  
1977年（昭和52年）11月1日、死去（80歳）

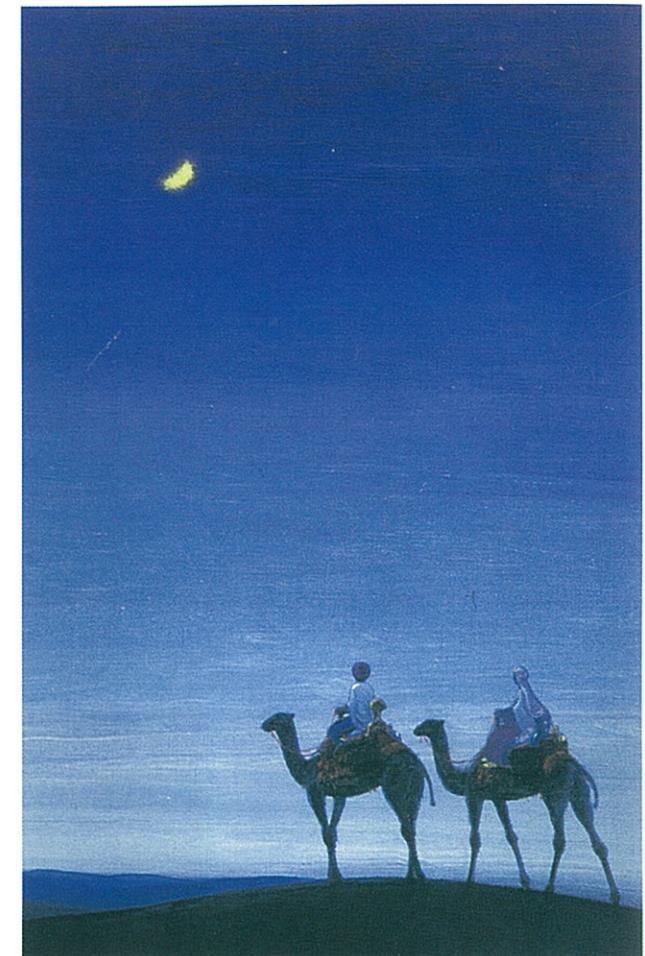


## 月の沙漠記念館

〒299-5104 千葉県夷隅郡御宿町六軒町505-1  
TEL:0470-68-6389 FAX:0470-68-5655  
開館時間●午前9時～午後4時30分(水曜日休館。水曜日が祝日のときは翌日)  
入館料●大人400円・高大生・65歳以上300円・小中生200円  
交通機関●JR外房線御宿駅下車徒歩7分／駐車場●専用駐車場あり／大型バス用駐車場もあり



# TUKINOSABAKU MEMORIAL MUSEUM 月の沙漠記念館



歴史とロマンに出会える街…  
**御宿町**  
ONJUKU